

- 問1 日本の主要な貿易港のうち、名古屋港の貿易的特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- 輸出総額が国内の港の中で最も多く、自動車や自動車部品、内燃機関などの輸出が盛んである。
 - 輸出入の合計額において成田国際空港を上回り、主に半導体などの電子部品を扱っている。
 - 京浜工業地帯の中核に位置し、輸入した原油を精製して石油製品を輸出する割合が最も高い。
 - 輸入総額が輸出総額を大きく上回っており、特に衣類や生活雑貨の輸入拠点となっている。
- 問2 中京工業地帯では自動車工業などの輸送用機械の製造が盛んですが、その生産体制を支える仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
- 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で高価なIC（集積回路）を製造する工場が分散して立地している。
 - 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。
 - 原材料の輸入に有利な港湾部に、石油化学コンビナートと製鉄所を集中させ、素材生産を主軸としている。
 - 古くから伝わる伝統的な技術を継承するため、小規模な職人の工房が都市部に密集して生産を行っている。
- 問3 北陸地方において、冬季の降水量が夏季の降水量を大きく上回る要因について説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- 冬に吹く湿った南東の季節風が、太平洋側から吹き込み、奥羽山脈を越える際に大量の雪を降らせるため。
 - 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。
 - 日本海側を流れる寒流の影響により、冬季に大気が不安定になり、低気圧が停滞しやすくなるため。
 - 年間を通じて吹く偏西風が、冬になると勢力を強め、大陸の乾燥した空気を直接日本列島へ運ぶため。
- 問4 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
 - 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
 - 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
 - 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
- 問5 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。
 - 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発展し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。
 - 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
 - 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
- 問6 三重県に位置するある重要港湾は、統計上、輸出額が東京港に次ぐ規模に達しています。この港の輸出特性として、輸出品全体の約4分の1を自動車 が占め、さらに半導体等製造装置や集積回路、タイヤなどの工業製品を主に中国や韓国へ輸出しているという特徴があります。この港の名称として正しいものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 神戸港
 - 北九州港
 - 名古屋港
 - 四日市港
- 問7 中部地方の製造品出荷額に関する統計において、愛知県は日本全国で第1位の規模を誇ります。この愛知県の工業において、出荷額の過半数を占めている主要な産業分野と、その中心的な工業都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- 金属製品の製造が盛んで、燕市などがその中心である
 - 精密機械器具の製造が盛んで、諏訪市などがその中心である
 - 輸送用機械器具の製造が盛んで、豊田市などがその中心である
 - 化学工業の製造が盛んで、四日市などがその中心である
- 問8 中部地方のある県の統計において、人口が約八十五万人と比較的少なく、農業産出額に占める果物の割合が野菜や米を大きく上回っている県があります。この県の農業の特色について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
- 高冷地でのレタスやキャベツの栽培が中心で、保冷トラックを用いて大消費地へ出荷している。
 - シラス台地が広がる地形を活かして、さつまいもの生産や畜産業が大規模に行われている。
 - 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。
 - 日照時間が長い沿岸部の傾斜地を利用して、茶の栽培が盛んに行われ、全国的なブランドとなっている。
- 問9 中部地方の都道府県について説明した次の文のうち、県名と県庁所在地名に関する記述として適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 東海地方の愛知県では、工業都市として知られる豊田市に県庁が置かれている。
 - 北陸地方の石川県では、江戸時代の城下町として栄えた金沢市に県庁が置かれている。
 - 日本海側の福井県では、港町として発展した敦賀市に県庁が置かれている。
 - 中央高地に位置する長野県では、かつての中心地であった松本市に県庁が置かれている。
- 問10 富山ライトレール（LRT）の導入において、高齢者や子供を含む幅広い世代が利用しやすくなるよう、運行サービスの向上とともに進められた物理的な工夫として正しいものを次の中から選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 郊外からのアクセスを優先するため、市街地の駅を廃止して停車駅を絞り込んだ。
 - 駅の滞在時間を短縮するため、全ての駅に階段とエスカレーターを設置した。
 - 一度に多くの乗客を運ぶため、車両の連結数を増やして大型化した。
 - 乗降時の負担を減らすため、ホームとの段差をなくした低床車両を導入した。
- 問11 石川県を含む日本海側の地域では、農業産出額において米の占める割合が高い傾向にあります。この地域で稲作が盛んになった地理的な背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。
 - 広大な平野部が広がり、一年中高湿多湿な気候を利用した二期作が行われているため。
 - 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥に強い稲の品種改良が進んだため。
 - 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹くことで、稲の成長が促進されるため。
- 問12 北陸新幹線が通過する各県の統計において、多くの面積を険しい山地が占める中、沿線の平野部では農業や工業が発展しています。福井県から富山県を経て長野県へと至る交通網の整備において、その険しい地形から大きな障壁となってきた、中部地方北部に位置する山脈について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- 赤石山脈は、北陸新幹線の沿線に位置し、関東地方と中部地方を分ける脊梁山脈として機能している。
 - 奥羽山脈は、中部地方を南北に縦断しており、北陸新幹線のトンネル建設において最大の難所となった。
 - 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。
 - 木曽山脈は、福井県から石川県にかけての海岸線に沿って広がる山脈であり、北陸地方の気候に影響を与えている。